

市長に質す！
ただ

一般質問

Q & A

一般質問とは？

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に一般質問を行います。市長の所信を質すことで、市政全般をチェックしています。

11月定例会の一般質問では、各議員が「一問一答式」で質問しました。議員ひとり当たりの制限時間は50分です。

今号では、その内容をダイジェストで紹介します。あなたが興味を持った質問はありますか？

(質問議員 15人)

《本会議の動画は、インターネットの録画配信で！》

島田市議会 映像

検索

パソコンでも、スマートフォンでも見ることができます。

対等合併10周年を迎え、問う



なかだ ゆうこ 議員
仲田裕子 議員

Q 9月定例会常任委員会的时候、教育委員会がプラザおおるりへ移転する旨の発言があった。10月30日の常任委員会にて、「この決定は、いつ、何の席で決められたか」を問うた。健康福祉部

は「庁議において検討したと思う」、教育部は「庁議において最終決定したか覚えていない」、この曖昧な答弁に対し真意を問う。
A 7月16日の庁議で方向付けられたことを改めて確認しなかったため、委員会での答弁が違ってしまった点はお詫びする。

A 「うたしあ」の移転先は具体的に決まっていないが、丁寧な説明と共に、今後の移転先を当局も一緒に探す考えである。

Q 合併10周年に掲げた、「島田市緑茶化計画」に鑑み、基幹産業である茶産業への来年度に向けた具体的な支援事業を問う。
A 「島田市緑茶化計画」とはブランドメッセージであり、茶業の振興計画ではない。

Q 金谷庁舎の耐震補強が新市建設計画から消え、今後の合併特例債の活用事業にも明記されていない理由を問う。

A 総合的に、公共施設マネジメントの中で検討する。

Q 教育委員会が移転する場合、隣接した施設利用団体への周知と今後の対策を問う。



10年前の合併協議会だより13号

市の対応に疑問！ シルク湯の謎？



やまもと たかお 議員
山本孝夫

Q 伊太和里の湯・通称シルク湯の微細気泡発生装置を導入した理由とメーカー指定した根拠は。

A 微細気泡が人気があると情報を得た。メーカー本社が県内で対応が迅速かつ円滑である。

Q 2600万円の本装置導入説明を議会にいつ行ったか。

A 特別には行っていない。
Q 検討部署内に科学的見識を持った者はいるか。

A いない。

Q 担当部長は常任委員会で、「メーカーの提唱する効能の科学的根拠はあるのか。」の問いに「そういう根拠の上で宣伝しているから求めれば出てくると思う。」と述べた。私は6月から根拠を出すよう当局を通じ要求しているが、未だに返答が無い。どうするのか。

A メーカーからの報告を待ちたい。
Q メーカーの提唱する効能が水質検査で認められない結果となった。メーカーに責任追及はしな



シルク湯現地水質検査したが、結果は？

いのか。例えばカラーテレビを買って色が出なかったら文句を言うと思うが、どうするのか。

A 温泉の雰囲気を楽しんでもらう目的で導入したので、何ら行動は起こさない。

Q 導入から、また検査結果からの対応も曖昧でわからないことだらけ、責任ある島田市として何もはっきりさせないまま指定管理者に渡すのか。

A 指定管理者に管理を委託する。

新病院建設に伴う影響と懸念



さの よしはる 議員
佐野義晴

Q 基本計画では、本体の概算事業費が247億円となっている。これに関連し、本体以外に考えられる全体構想の概要とか、総工費の上限値設定の有無を伺う。

A これからの課題で、周辺部を含めた計画は現段階ではない。

Q 病院西側の県道の渋滞や、地震の際の道路の液状化が問題になった。その対策を伺う。

A 交差点角地にある空き地活用で病院敷地への侵入右折レーンを整備する。液状化については、シミュレーションでは問題はない。

Q 計画では駐車台数が964台となっているが、充分か。

A 市民の意見も参考に、立体駐車場の可能性も検討する。

Q 予定地は窪地のため、周辺の雨水排水が心配だが大丈夫か。

A 雨水対策として、調整池を整備し、周辺の既存水路に負担を掛けないようにする。また、大津谷川へ放水する水門を、常時閉じておけば浸水の心配はない。



改善を希望する、市民病院前の右折レーン

Q 計画では療養病床は整備しないとのこと。それにより介護難民・介護離職等、市民生活に及ぼす悪影響は出ないか。

A 退院調整は一般病床で行う。24時間対応可能な訪問介護ステーションの整備、志太榛原圏域内の施設で対応する。また来年以降70床程度の介護系の施設を整備する。なお、当地域の10年後の見通しとして過不足はない。

行政組織変更後の課題は



おおいし じゅんいち
大石 節雄 議員

Q 部署の所管事務内容と人員配置は適切であったか。

A 所掌事務と人員配置については、事務量に偏りが見られ、来年度に向け見直しを行っている。

Q 市長戦略部の総合的な調整事務は、適切に行われているか。

A 市政の基本方針や主要施策等に係る市長の意思決定に必要な協議を行うため、庁議と部長会議を開催し、各部各課の相互調整に努めている。

Q 各課の相互調整をしているという事は、部長の言葉はイコール市長の言葉という認識であるが、最近懸念を感じているが、

A トップから担当まで意思統一をしっかりとさせるように、今後も取り組んでいきたい。

Q 中山間地域振興室を設置してはどうか。

A 組織設置の効果、組織全体の業務量や人員のバランス等を考慮し、必要性を見極めていく。

国道437号線

改善の優先度は

Q 道路施策要望の中で、国道473号の優先順位はどうか。また、優先順位向上に必要なことは。

A 優先順位は高いと判断している。地域振興や交通安全の必要性が高まれば、優先度は高くなっていく。地域の熱意をいかに県に伝えるかというのが大きな要素。



大型車が通行すると狭い国道473号線

新病院

軟弱地盤対策は大丈夫？



そね よしあき
曽根 嘉明 議員

Q 軟弱地盤対策費の約7億5000万円が、杭打ち費用か。

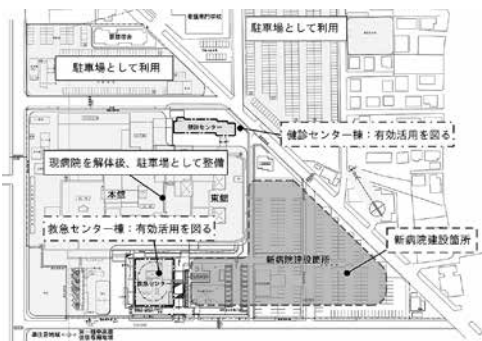
A 平成24年度に病院東側と北東側の駐車場で行った調査に基づいて地盤改良・杭基礎を施工することにより、建設が可能であるということに基づき、費用の計上をした。

Q 杭打ち基礎の信用度が低下しているが、基本設計に入る前に地盤調査ができないか。

A 基本設計の冒頭に詳細な調査を行い、基礎の工法を決めたい。

Q 今建設しようとしている駐車場は、一番地盤の悪い所で支持基盤まで30数メートルとも聞く。そこに杭打ち工法を行えばかなりの予算がかかるが、そのあたりの認識は。

A 岩手県石巻市の日赤病院は当院よりも軟弱地盤であり、杭は岩盤まで打たず、途中まで刺して安定を図る工法になっている。今は様々な工法があり、一番よい方法を目指していきたい。



市民病院基本計画配置図 地盤はどうか？

Q 配置図についても非常に変形となっているが、どう見ても口スが多い。設計のコストがかさまないか。

A 救急センターなど既存の施設についても利用して、現時点で絵を描くとあのような形になる。口スがあると思うが、この場所にコンパクトに作れるのではないかと、次の設計段階を期待する。

島田大祭帯まつり 未来永劫続くよう



あおやままさこ
青山真虎 議員

Q 「祭り」は地域に山積する問題を解決しようとするバラバラの力が共振り、行き詰まりを打開する大きな力になる。

A 島田大祭を継続していく上で、課題となっていることは何か。

Q 参加者の減少や各街の資金不足と認識している。

A 行政が祭りにできることは①人集め、②補助金、③運営上の支障を取り払うことなどである。青年が勤める企業に、祭り参加への理解を求める書面を出してもらいたい。どうか。

Q 前向きに検討する。

A 市にも財源に限りがある中で、寺街から七街までを国指定の文化財に推薦してはどうか。

Q 関係者のご意見を聞きながら、ということになる。

A 前回と比べて、各街の行動計画に変更を生じさせなければならぬ条件はあるか。

Q 警察署から終了時間の前倒しを要請されている。保存会と警察



マツリ=マツリゴト。世直しも若者の役目。

が協議する中で、市は協議がスムーズにいくよう支援する。

Q 前夜祭は開催するのか。

A 関係者により決定していく。

Q 市民の声はどうか。

A 前夜祭がないのは寂しい、という声を聞く。

※その他の質問

- ・ 金谷茶まつり
- ・ 市街地活性化
- ・ 道の駅の新設

新市民会館建設の検討を！



もり しんいち
森 伸一 議員

Q 新市民会館建設については、昨年の議会で先行・優先して進めるといふ答弁があったが、現時点ではどうか。

A 全体最適という観点から、ほかの施設と同様に検討すべきと思うが、もともとあった機能が現在失われているので、ほかの施設に先駆けて検討する必要があると認識している。

Q プラザおおりの設備について、どのような修繕が必要か。その場合の費用額は。

A 舞台つり物整備や女子トイレの洋式化、空調および照明機器の改善。また非常放送設備及び中央監視装置の更新、非常用蓄電池の取り換え。ホール音響、照明機器の更新、外壁改修工事など。費用は、耐用年数までの維持ならば約7億5000万円。

ざつがみ
雑紙の分別、

生ゴミの水切りを！

Q 分別の容易さ、何でも燃やしてくれるという市民の満足感はある意味では心配だ。ゴミの資源化やゴミの減量の市民意識を育てていくことも重要だと思う。「雑紙」の分別や「生ゴミ」の減量化の周知をどうするか。

A 雑紙は、収集カレンダーに判りやすく記載。回収袋も作成する。生ゴミの処理方法の啓発も推進する。



生ゴミ処理「キエーロ」の容器

安全・安心で おいしい学校給食を



まぐらひようこ
桜井洋子 議員

- Q** 中部学校給食センターでアレルギー対応食が始まったが、その内容はどうか。
- A** 4月からの移行は何人か。要支援認定者からの移行は85人だ。
- Q** 卵と乳製品の2品目だ。アレルギーがある児童2人に除去食で対応している。専任の栄養士と調理員の2人で行っている。
- A** 基本チエックリストで、新たに何人が事業対象者となったか。10月時点で352人だ。
- Q** 対応品目を増やす考えはどうか。
- A** 三学期からは、エビ、カニ、イカ、タコを加えた6品目の除去食を提供していく。
- Q** 大型の学校給食センターでは、食材も大量に必要だが、島田産農産物の導入は進んでいるのか。
- A** 冬場の野菜が今後増えてくるので、品目数の目標である40パーセント近くは導入できる。
- Q** 介護保険法の改定で、要支援者の訪問介護と通所介護が介護給付から外され、市が行う介護予防・地域支援事業に移行した。



島田産の野菜を使った学校給食

島田市緑茶化計画 全体の取り組みを



しみずただし
清水唯史 議員

- Q** 緑茶化計画の推進計画の経緯は。
- A** 市民と職員のワークシヨップにより、島田市のブランドメッセージとして抽出した。
- Q** 海外戦略は。
- A** 生産者・茶商・J A・行政が一体となり海外輸出の早期体制づくりを推進する。また友好都市などを展開の契機にしていく。
- Q** 国内戦略は。
- A** 茶工ピソードをおもしる素材としてPRし、観光振興につなげる。
- Q** 市内戦略は。
- A** 市民、事業者、行政が一体となりメッセージ・ロゴ・緑茶グリーン(色)によりプロモーションし、ロゴは誰でも使用できることとする。また、観光客がお茶を飲んで、体験し、購入することができるよう展開をする。
- Q** 公共施設の今後は？
- A** 公共施設等総合管理計画を本年度中に策定し、全ての公共施設を老朽化・利用状況などから評価し、更新、統廃合、長寿命化の大まかな推進計画を策定する。
- Q** 施設状況診断に必要なカルテの作成状況は。
- A** 検討段階で未着手である。
- Q** 市民の意見の聴取方法は。
- A** アンケートによる意識の把握を行い、施策の展開の参考資料としていく。
- Q** 再配置の取り組みは。



申請だけで使用できる緑茶化ロゴ

「ベーゼンドルフフェア」 全国発信



むらた ちづこ 議員

Q 現在「あなたも弾けますベーゼンドルフフェア」事業は、島田と川根で隔年開催している。川根は桜の時期に変更し観光・宿泊も含めたアート・ツーリズムを企画し、全国公募してはどうか。

A 五つの認知機能を検査し、対象者は65歳から84歳、無料診断。
Q 新規の認知症対策の検討は。
A 28年度から徘徊高齢者の事前登録制度を実施していく。

A 集客等に効果が期待できるので関係団体と相談し、前向きに検討していきたい。

※その他の質問

Q ピアノ演奏技術の向上やイベントの発信性を高めるために「コンテストの部」を設けては。

急増する高齢者の対応、特に独居老人の生活支援として空き家の利活用の観点から「サービス付き高齢者向け住宅」の質問をする。

A 今のやり方を工夫する中で、参加者から開催を望む声が出てきた段階で検討する。

Q 貴重な名器である「ベーゼンドルフフェア」に触れる演奏体験（心の教育）での小・中学生の参加費は無料にすべき（市民の声）。

A 限られた予算の中で運営、島田市民だけではないので、その点を配慮しながら検討したい。

早期認知症対策を！

Q ファイブ・コグ検査とは。



来年節目（15回）を迎える（最多出場者）

市の産業発展のために 今できること



すぎの なおき 議員

Q 市にとって、これからの基幹産業は何と考えるか。

A これからの基幹産業は製造業である、と考えている。

Q 産業・雇用を創出するためには市は何をすべきと考えているか。

A 企業誘致、既存企業への支援、新規創業の推進の3つが重要であると考えている。

Q 市の工場製品出荷額は経済産業省の工業統計調査によると、2008年は約3800億円、2013年には約3000億円まで減少している。なぜこのような状況に陥ったと考えるか。

A リーマンショック以降、円高による製造業の海外進出により静岡県全体の製造業の空洞化が幅広く進行した。事業所の減少や従業員の製造業から非製造業への転職、燃料や資材高騰による先行き不透明感など、思い切った設備投資ができないことが減少の原因であると考える。

Q これから島田市でどうやって産業を育て創出し、雇用を生むかは「人財」の創出を軸とした産業発展を提案するがどうか。

A 産業発展には、地域産業の育成と企業支援、人材育成が必要。また地域産業の競争力を高めるためには、やはり官民一体となった推進体制が必要であるということから、来年、（仮称）産業支援センターを設置する。

創業、経営革新に関する相談窓口は

こちらです

イラストは議員本人作成

療養病床廃止で

どうなる高齢者



やぎのぶお
八木伸雄 議員

Q 新病院に療養病床を設けないのはなぜか。

A 国の療養病床に対する診療報酬の流れと医師確保を考えると困難であり、急性期病院とする。

Q 市民病院なら6万円から7万円で済むが、民間の療養病院では、介護度により28万円から50万円だ。病院を追い出された市民が入れると思うか。

A 地域包括ケアシステムを推進し、在宅医療を目指す。

Q 在宅での介護は、家族の誰かが仕事を辞めるか、高額な介護施設を利用しなければならぬ。まずは安価で入所できる施設を造り、施設へ入所するまでの期間を市民病院で診るべきだ。

A 国の医療報酬の点で療養病床では無理だが、一般病床を利用して対応したい。

Q ぜひお願いしたい。「国がお年寄りを見捨てても島田市は見捨ててはならない。」同時に家庭での介護支援も必要だ。



通行止めの市井平線

A 24時間対応の訪問看護や医療・介護・生活支援に取り組む。

林道改修を進めるべきだ

Q 現在不通となっている林道の整備を望むがどうか。

A 市尾平野線と市井平線は27・28年度で、上手川線・南沢線は29年度、萩の平線は残土のめどが立ち次第行う。清笹高根線は調査する。湯倉線は今後の検討だ。

公認陸上競技場

島田市に不可欠!



ひらまつよしりのり
平松吉祝 議員

Q 長期的な視野に立つ基幹公共施設の再編・整備を行うべきであるが、市の考えはどうかか。

A 公共施設等総合管理計画および推進計画の中で方向性を明示。

Q 金谷庁舎はどうなるか。

A 教育委員会はおおりに移転する。最終的には解体に持つていきたい。

Q 行政機能の一元化をどう考えているか。

A 経費を効果的に配分し、組織の適正化を図るため、行政機能の一元化は有効であると考える。

Q 市民会館は解体か。

A 来年度、解体撤去する。

Q 市民会館の跡地利用は。

A 現時点では具体的に示せない。当面は駐車場、イベント広場、避難場所を利用する。

Q 田代の郷陸上競技場計画が中止されてから3年放置されている。大井川マラソンの開催地であり、実業団、大学等の合宿誘致等にも公認陸上競技場は欠かせない。



公認記録とならない陸上競技場!

A 今後、田代の郷はどうなるか。このエリアの特性を生かした施設整備を目標にしている。

市のホームページには、河川敷の陸上競技場は第3種公認陸上競技場とうたっているが、第4種の公認を昨年5月に日本陸上連盟から廃止されている。基本の施設建設は行政の責務である。

島田市のふるさと納税は？



いとう たかし 議員
伊藤 孝

Q ふるさと納税額の現状は、どの様になっているのか。

A 平成27年度のふるさと寄附金額の状況は、10月末現在、寄附件数690件、寄附額853万1000円となっている。

Q ふるさと納税担当職員は何人が。
A 0・4人である。

Q 11月末で18億円を突破している焼津市は、担当職員を4人配置している。2人の増員も検討しているようだが、島田市も大幅に増員する気は無いのか。

A 人員を投入してたくさんいただけるようにしていく、というのも一つの考え方であると思っている。金額を増やすということにおいては、もう少し戦略が必要なのかと思う。

Q 市民が他自治体へふるさと納税をしたことにより、市民税収入は、どれくらい減額となるか。

A 平成27年度個人市民税額への影響は、410万8106円の減額となる。

今後の「緑茶化計画」の

展開は？

Q 『健康マイレージ事業』の緑茶化計画版を創設出来ないか。

A 可能性のあるものについては全て検討し、できるものからやっけていく姿勢で臨んでいきたいと思う。



ポータルサイト「ふるさとチョイス」

平成28年は三年に一度の島田大祭！



よこた がわまさ 議員
横田川真人

Q 平成28年は3年に一度の島田大祭である。前回は前夜祭を中止したが、今回はどうする予定か。

A 前夜祭については、開催の有無や内容について検討している。青年の確保が課題となっているが、広報を含め市で協力できることはないか。

Q 広報はまだ・FM島田・ホームページ等で紹介や募集をしている。わずかであるが問い合わせがあった。

A 人員集めは、一人一人のつながりで行っている。企業への参加のお願い等はできないか。

Q 募集方法についても検討中だ。祭り中のたばこの分煙体制は。お祭り広場や本通り沿いの複数個所で喫煙所を設置する。

A 任意である。スクールソーシャルワーカーの増員や、保護者からの直接の相談はできないか。

Q 少しずつ増やしたい。窓口は教育センターで受け付けている。

Q 学校図書館司書教諭の配置状況は。
A 12学級以上の14校には配置されている。配置されていない2校にも図書館支援員が回っている。

教育は授業だけではない

Q 家庭教育学級とは。

A 小学一年生の保護者を対象に学習会を実施。あくまでも参加は



前回の島田大祭 おわたりの出発！

調査しました！ あのまち、このまち



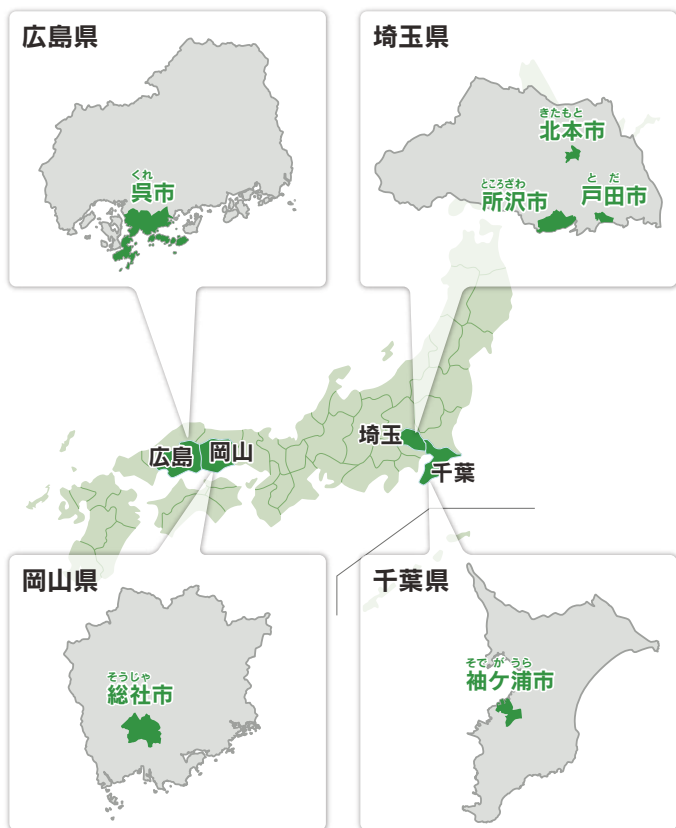
所管事務調査とは？

地方議会の常任委員会は、その部門の事業・事務に関する調査を行う権限を持っています。

所管事務調査では、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのは異なり、委員会が自主的にテーマを設定し、調査を行います。

島田市議会に設けられた3つの常任委員会でも、各々のテーマを設定し、国内各地の自治体を訪問し調査を行いました。

他の自治体では、どんな事業をしているのでしょうか？



「障がい者千人雇用事業」は市長主導で！

● 11月5日・岡山県総社市

「障がい者千人雇用」事業

市長主導の強い政策の下、平成23年度に「障がい者千人雇用推進条例」を制定。誰もが「実現は無理」と想定した中で、平成23年に180人だった雇用が、平成27年10月現在、883人まで増加した。

市長と関係企業および職員の意欲とノーマライゼーション（等しく生きる社会の実現）の精神に敬意を表すると共に、島田市でも取り入れるべき施策である。

● 11月6日・広島県呉市

国民健康保険事業

国保医療費適正化に向けた「みんなで考えようシエネリック医薬品」を開催。患者・医師の理解を募った結果、医療費削減だけでなく患者の病気進行予防や不安解消にもつながった。



国民健康保険の安定運営への取り組みを研究（呉市）

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」により、平成30年度から都道府県が財政運営の主体となる。島田市も、平成30年度の国民健康保険の安定化に向けた準備を充実させるべきと認識した。

自治基本条例には、徹底した議論を！

染谷市長は、所信表明の中で、「自治基本条例」の制定の意向を示し、現在市民会議が検討を行っている。今回は、自治基本条例策定への取り組み状況・議会の対応について調査した。

●10月14日・千葉県袖ヶ浦市

「自治基本条例」否決

袖ヶ浦市は、平成22年に市民会議を設置し市民対話集会等を開催。平成25年2月に議案を提出したが、付託委員会で継続審査となる。同6月定例会で、「市民の十分な理解が進んでいない」「市民に不要な混乱を招く恐れがある」等の理由で賛成少数で「否決」された。

●10月15日・埼玉県所沢市

「自治基本条例」可決

所沢市は、市議会提案から始まり、条例骨子案を提言し、パブリック・インボルブメント（住民参画）による素案作りを要請した。平成

21年から50人の公募市民による条例検討委員会が中心となり約1年半で原案を作成。翌年9月定例会に提出。特別委員会を設置し、平成23年3月までに13回の委員会を開催した。委員会の修正案が、市議会により「可決」されたとのことであった。

「自治基本条例」は、市民からも賛否両論の声がある。議会として二元代表制の観点から、慎重かつ徹底した議論が重要である。



「自治基本条例」について伺う（所沢市）

シティセールスに学ぶ

●10月6日・埼玉県北本市

低コストで新市庁舎建設

北本市では徹底的なコスト削減と地道な基金積み立てによる新市庁舎建設事業を視察した。

島田市役所本庁舎の老朽化も進んでおり、解体が決まった市民会館等、公共施設の全体配置計画に真剣な議論をしていく。

●10月7日・埼玉県戸田市

先進的なシティセールス

戸田市は荒川を隔て東京都と接する抜群の立地にもかかわらず、認知度が低いという弱点からの脱却を目指し、地域の持続的発展のため将来にわたってまちの活力を得る活動を「シティセールス」と定義して、さまざまな活動を行っている。

まず市の現状を厳しく分析。市の強みを把握し、効果的に発信している。分析の結果得られた戦略を基に、62もの具体的な取り組み

を実施した結果、平成26年の人口増加の多い市区として全国6位となった。

島田市では今年度に入り「島田市緑茶化計画」を柱にタイプロモーションに力を入れ始めた。市の活性化のため、先進地の取り組みを委員会審査等に生かしていく。



シティセールスの先進地に学ぶ（戸田市）

市政への意見をたくさん伺いました

～第3・4回議会報告会～

11月中旬、平成27年度第3・4回議会報告会を市内6会場で開催しました。市議会の活動報告、3つの常任委員会からの議会報告の後、市政に関する質疑や意見の交換を行いました。

◆第3回（11月14日）

会場：六合公民館 参加者：21名

質疑

- 島田市で最も地盤が悪いところに無理に病院を計画している。場所を再検討すべきではないか。

要望

- 島田市の川は道路拡幅のため蓋をしている。水が流れている川を作ってほしい。
- 自治基本条例について、賛成・反対の双方が意見を公平に述べられる公開討論会実施を。
- 高齢者が所有する竹林対策を考えてほしい。

◆第4回（11月20日）

会場：北部ふれあいセンター 参加者：27名

質疑

- 新病院に何か特色のある設備はあるのか。
- ふるさと納税はどうなっているか。
- 学童保育を5・6年生も利用できるようにならないか。

要望

- 他病院とも連携して特徴のあるものにし、市外から市民病院に患者が来るようにしてほしい。
- 市民病院を退院した後の施設がほしい。
- コミュニティバスで病院への交通手段の確保を。

会場：川根庁舎 参加者：8名

質疑

- 商店主が高齢化して、店の近くの街路灯をLED化する費用の負担が大変。
- 省エネで消えている県道に面している水銀灯は再点灯することはできないか。

要望

- 社会福祉協議会が移転した場所に教育委員会が入るという報道がある。これについての議会対応をちゃんとしてほしい。

会場：金谷庁舎 参加者：7名

質疑

- 最終処分場の決着はどこまで決まっているのか。
- 旧金中跡地利用のアイデアコンペは何のためか。

要望

- 何でもできる職員教育をしてほしい。
- 金谷南・北支所を一括窓口に戻すべき。
- 金谷庁舎の今後について方向性を早く示すべき。
- 情報公開をもっとしっかり住民にせよ。

会場：初倉公民館 参加者：30名

質疑

- 契約が平成29年で終了するが、次の最終処分場のあり方を考えるべきだ。
- 廃棄物管理をしっかりし、説明もしてほしい。

要望

- 要介護者が増え、将来困らないようにすべきだ。
- リニア建設工事に伴う湧水について、もっと議会で取り上げるべきだ。

会場：プラザおおるり 参加者：7名

質疑

- 小水力推進に地方創生型交付金の利用は可能か。
- 議員が質問方法などを勉強し、質問と答弁の整合性を図るようにする取り組みができないか。

要望

- 新市民病院の医師体制は良好だが、研修医が来る環境づくりが必要である。

議会報告会で出されたさまざまな要望・意見は、市当局に伝えるとともに、議会側でも検討していきます。参加者の皆さん、ありがとうございました。

「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」 紙面づくりに取り組んでいます。

議会広報アンケート結果から、紙面をリニューアルしました

島田市議会は、年5回「しまだ議会だより」を発行しています。

しかし「字が多くて読みにくい」、「専門的な内容ばかりでわかりにくい」、「議会のことを知らないからなじめない」…といった意見も少なくありませんでした。

「どうしたらもっと読んでいただけるのだろうか?」を探るため、昨年2月に市役所に来庁した人にアンケートを実施し、その結果を検討しました。

市役所ロビーで来庁者アンケートを実施しました



東京都あきる野市議会「ギカイの時間」
第8回マニフェスト大賞
優秀賞 (H25.11.1)

栃木県宇都宮市議会「あなたと市議会」
第9回中核市議会議長会議会報コンクール
最優秀賞 (H26.4.15)



読みたくなる
紙面は
どれですか?

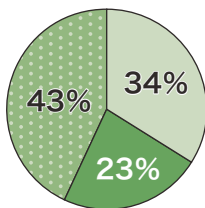


議員自身が市民アンケートを行いました

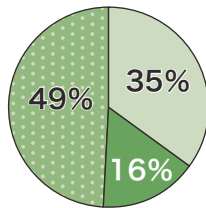
昨年の2月9日(月)と10日(火)、市役所ロビーに来庁した200人を対象に、アンケートを実施しました。

コンクールなどで評価が高い東京都あきる野市議会の「ギカイの時間」と栃木県宇都宮市議会の「あなたと市議会」を、「しまだ議会だより」を見比べてもらった感想を聞きました。その結果から、「しまだ議会だより」は「読み慣れていない人は読む気にならない」デザインであることなどがわかりました。そこで、「見やすいデザイン」と「読みたくなる情報発信」を目指し、デザインを刷新することになりました。

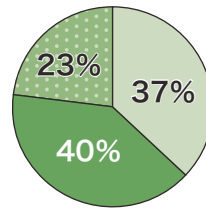
①「読みたくなる表紙」は
どれですか?



② 見開きページはどれが
よいですか?



③ 「一般質問」のページは
どれがよいですか?



島田市
栃木県宇都宮市
東京都あきる野市

人口誘導に活路を求めない地方創生 ～人口が減っても持続的な暮らしができる地域を作る～

島田市議会議員研修会を開催（平成28年1月28日）

（株）日本総合研究所から藤波匠^{ふじなみたくみ}上席主任研究員を講師に迎え、議員研修会を開催しました（静岡県市議会議長会定期総会講演と共同開催）。

「地方創生の活路を人口増に求めるのではなく、豊かに暮らすことができる地域社会を構築することに求めるべき」という観点から、「都市の機能性向上、暮らしやすさと雇用の改善を図るべきではないか。」との講演を、約1時間にわたり受講しました。



編集後記

市議会は、市民にとって最も身近な議会です。より多くの人に手に取って読んでいただける紙面づくりのため、評価が高いと言われている他市の議会だよりの良いところを取り入れたりアンケート調査をしたりし、工夫を重ねてきました。今回も、一部にそれを取り入れて作成しています。

市民の皆さんに読みやすい紙面になってますか？ご感想やご意見などありましたら、遠慮なくお寄せください。よろしくお祈りします。



議会だよりに編集に関する特別委員会

- 【委員長】 桜井 洋子
- 【副委員長】 伊藤 孝
- 【委員】 杉野 直樹 横田川真人
- 山本 孝夫 森 伸一

2月市議会定例会

議会を見に行こう！聴きに行こう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場（市役所3階）へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
2/14	15	16	17	18	19	20
			本会議 (補正予算等)	常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	常任委員会 (午前・総務消防 午後・予備)	
21	22	23	24	25	26	27
					本会議 (H28当初 予算など)	
28	29	3/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (代表質問)	本会議 (個人質問)	本会議 (個人質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会 (経済建設)	常任委員会 (総務消防)	常任委員会 (予備日)			
20	21	22	23	24	25	26
	春分の日				本会議 (最終日)	

☆本会議および3/11～16の常任委員会は9時30分、2/18・19の常任委員会は9時開会です。

☆日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。